

小中一貫教育の充実に向けて

駅家南中学校区では、中学校区の目指す子ども像である「駅家に愛着と誇りを持ち、主体的に活動できる児童生徒」の育成をめざし、日々取組を進めています。

2学期は、児童生徒・教職員の小中一貫教育を深めていく取組を実施しました。9月21日に行われた『第3回小中合同研修会』では、宜山小学校を会場とし、小学校の国語科の授業を駅家小学校・駅家南中学校の教員が参観することで、指導力を高めるとともに、小学校の取組の様子を知ることができました。『部活動体験』では、小学生・中学生の交流とともに、駅家小学校・宜山小学校の児童の交流も行うことができ、中学校の部活動の様子を肌で感じることができました。

今後も、小学校・中学校とともに一丸となって、小中一貫教育の充実に向けて取り組んでいきます。

9月21日（木） 第3回小中合同研修会 （於：宜山小学校）



2年1組国語科

「しかけカード・おもちゃの作り方」

おもちゃ作りの説明書を書きました。「この書き方で1年生わかるかな？」グループで協力して1年生にもわかるように文章を修正していきましました。

5年2組国語科

「明日をつくるわたしたち」

自分たちの所属している委員会の問題点を明確にし、よりよくするための提案文章を考えました。グループごとに話し合い、より伝わるように内容を練り合いました。



6年2組国語科

「この絵、私はこう見る」

絵を見て、紹介文を書き、グループの友達に発表をしました。「この絵の、～をみてください。」「～に注目してください。」と注目する点を示しながら説明することができました。



10月31日(火) 部活動体験



「部活動をすることでどんな力がつくのかな？」中学校の先生の話に真剣に耳を傾けます。



中学生の演奏の様子を見つめる小学生。「練習したら私たちもこんなに上手になるのかな。」



優しく教えてくれる中学生に、緊張していた小学生にも少しずつ笑顔が出てきました。



ユニフォームを着ている中学生がすごく大きな存在に感じました。



中学生と小学生でミニゲーム。バスケ経験の少ない小学生も、楽しんで参加することができました。



小学生に説明する中学生。小学生にわかるように丁寧に説明をしてくれました。